

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成 19 年 8 月 23 日 (2007.8.23)

【公開番号】特開 2006-329985 (P2006-329985A)

【公開日】平成 18 年 12 月 7 日 (2006.12.7)

【年通号数】公開・登録公報 2006-048

【出願番号】特願 2006-143013 (P2006-143013)

【国際特許分類】

**G 0 1 N 33/52 (2006.01)**

**G 0 1 N 33/48 (2006.01)**

【F I】

G 0 1 N 33/52 B

G 0 1 N 33/48 T

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 7 月 9 日 (2007.7.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ハウジング (12、14) により区切られた内部を有し、テストエレメント (42) を保持するためのマガジン (26、78) を有する携帯型分析装置 (10) であって、マガジン (26、78) 内部の第 1 位置から、マガジン (26、78) の少なくとも部分的に外側にあつてハウジング (12、14) の内側に位置する第 2 の位置までテストエレメント (42) を搬送する搬送装置 (32、34、36) を有し、マガジン (26、78) からのテストエレメント (42) の搬送が、2 つの動作中に生じ、テストエレメントが貯蔵位置 (110、114) に含まれるマガジン (26、78) からのテストエレメント (42) の前記搬送が、テストエレメント (42) が回転装置 (35、36; 82) によって、提示位置 (72、100、116) に移動する様式で行われることを特徴とする携帯型分析装置。

【請求項 2】

前記マガジン (26、78) 内のテストエレメント (42) の貯蔵位置 (110、114) が、マガジン (26) 内の直立位置により定められることを特徴とする請求項 1 記載の携帯型分析装置。

【請求項 3】

前記マガジン (78) 内のテストエレメント (42) の貯蔵位置 (110、114) が、ハウジング (12、14) 内の所定位置に置かれているマガジン (78) 内のテストエレメントの傾斜位置 (114) により定められることを特徴とする請求項 1 記載の携帯型分析装置。

【請求項 4】

前記テストエレメント (42) の提示位置 (72、116) が、ハウジング (12、14) の出口開口部 (46、94) における水平位置により定められることを特徴とする請求項 1 記載の携帯型分析装置。

【請求項 5】

マガジン (26、78) 内の貯蔵位置 (110、114) から提示位置 (72、100、

1 1 6 ) へのテストエレメント ( 4 2 ) の移動が、回転運動であることを特徴とする請求項 1、2 または 3 記載の携帯型分析装置。